

SRI の中で、インパクトインベストメントというジャンルがあります。

この分野では、オランダのトリオドス銀行が有名です。この 6 月に、アムステルダムで同行の関係者と面談する機会がありました。提供された資料によれば、SRI は投資企業を選択するスクリーニングと、投資家として企業と対話するエンゲージメントを通して、投資のリターンと社会課題への働きかけを実現するものとして、同行では捉えているようです。一方、インパクトインベストメントは、より直接的に特定のインパクトを生み出し、特定の社会問題を解決することを狙いとしています。ここでいうインパクトとは、長期的スパンで生み出される社会への変化のことで、例えば電気の通っていない地域にソーラーランプを売ることで、その地域の多くの子どもたちが夜でも勉強ができるようになり、その結果、より多くの人たちがより良い生活を送ることができるようになった、というようなものを指します。長い時間軸で関わる必要があると、それゆえにリスクも伴うことなどから、このインパクトインベストメントの分野には、富裕層やファミリー企業、個人の財団などが活発に投資を行っています。トリオドス銀行では、例えば、地球温暖化により水位が上がっていたオンランデン地方の整備等に投資している Triodos Groenfonds (トリオドス・グリーンファンド) などがあり、このファンドは 1990 年にスタートし、2016 年末時点で 7 億 71 百万ユーロ (約 946 億円) にのぼるなど、長年にわたる実績があります。

最近、アメリカの大手ファンドである TPG とベインキャピタルがインパクトファンドでの投資を始めたことが注目されています。前者は 20 億ドルのファンドで、TPG グループ内の TPG Growth や富裕層に強い UBS、そして 80 年代以降、世界的人気ロックバンドであり続けている U2 の中心人物、ボノ氏も資金を出していることが話題になっています。ボノ氏はもともと熱心な慈善活動家としても知られ、世銀総裁候補に指名されたり、ノーベル平和賞候補にも 3 度選ばれています。リベラルな政策に強硬に反対していたアメリカ共和党のベテラン議員でも、彼のコンサートに行った後では宗旨変えをするくらいの影響があるそうです。ミュージシャンとして音楽的にもたえず新しいことにチャレンジしながら、興行的成功も両立させ、世界の貧困など社会問題への深い理解と、その解決や改善のために自分の持てる力を使おうとする姿勢には頭が下がります。人に良い影響を与える力を持つ人は、やっかみや批判を恐れず、その力を大いに世のために使うべきではないでしょうか。

参考資料：

JULIA BALANDINA JAQUIER 「CATALYZING WEALTH FOR CHANGE」 Toridos Bank

Toriodos Bank HP

<https://www.triodos.com/en/investment-management/our-funds/overview-all-products/groenfonds/about-the-fund/> など同行 HP 内サイト

BARRON' S

10Jul2017 「UBS Wealth Management Units Invest \$325 Million in Impact Fund」

<http://www.barrons.com/articles/ubs-wealth-management-units-invest-325-million-in-impact-fund-1499713532>

Bain Capital HP

<https://www.baincapital.com/news/bain-capital-double-impact-announces-first-two-investments>

NHK BS 世界のドキュメンタリー「闘うセレブ～U2 ボノの叫び～」初回放送：2012年12月4日